

2025年 1月24日
千葉交通株式会社

走行中にCO2を排出しない
環境にやさしいEVバスの運行を開始します
2025年1月29日(水)より成田営業所管内の路線で運行開始

京成グループの千葉交通(本社:千葉県成田市、社長:宮本 貴史)では、成田営業所に大型路線バスタイプのEVバスを4両導入し、2025年1月29日(水)より運行を開始いたします。

千葉交通では、政府が掲げる2050年度までのカーボンニュートラルの実現に向け、環境に配慮したバスの導入について検討を進めてまいりました。

今回導入するEVバスは、蓄電池に充電した電力だけで走行する車両で、走行中にCO2などの温室効果ガスを排出することなく、騒音や振動も抑えられるなど、環境負荷の小さいバスです。



運行を開始するEVバス

このEVバスには、これまで当社が取り組んできた安全対策に加え、アラウンドビューモニターを設置し、運転士の安全運転をサポートするほか、スマートフォンなどの充電用 USB ポートを増設し長時間でも安心してご乗車いただけるなど、これまで以上に安全・安心・快適な輸送サービスを提供いたします。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

本件の概要は、次頁の通りです。

EVバスの概要

1. 運行開始日及び運行エリア

- (1) 2025年1月29日(水)より運行開始
- (2) 成田営業所管内(成田市、香取市、八街市、富里市、栄町)

2. 運行車両

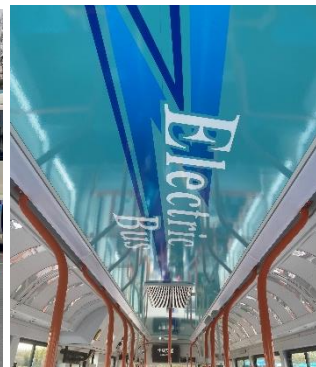
BYD 製 大型EVバス「K8 2.0」(定員79名 ※乗務員席除く)

3. バスのデザイン(車内外)

- (1) 美しい青い空を守る最新テクノロジーをイメージ(2両)



- (2) 地域の皆様になじみのあるこれまでのデザインをベースに電気ので颯爽と駆け抜けるバスをイメージ(2両)



4. SDGsへの貢献について

エネルギーをみんなに。
そしてクリーンに



住み続けられる
まちづくりを



以上